

早いもので、渡米して9カ月が経ちました。3月分の報告をします。

#### ・授業

今学期に履修している授業の一部を報告します。

#### ・ Introduction to Advertising

広告学の授業です。この授業は、ブランドプロモーションに関する、プロセス・環境・状況・テクニックなどの入門科目です。広告産業の概要、プランニングに関する様々な機能、そして消費者とのコミュニケーションの取り方などを学ぶことができます。さらに具体的に言うと、消費者の習性、市場細分化、著作権、視覚表現方法などブランドプロモーションに関する様々な要素を学んでいます。私の友達に Advertising 専攻の人がおり、話を聞いたところ非常に興味を持ちこの授業を取ることに決めました。実際に授業では、アメリカの様々な CM や広告を使いながら、それに関する考察を行ったり、広告に関する歴史、さらには、マーケティングの手法についても学んでいます。先日の授業まで、私がおもった印象に残ったのは HONDA・civic の CM でした。CM というよりは、ひとつの芸術作品のような印象を受けました。マーケティングに関しては、知識がゼロなので苦労しています。しかし、どのようなブランドプロモーションを行えば効率的に消費者に伝えることができるのか、より売上を得ることができるのかなど、過去の事例を基に授業を行うので、そういう仕組みになっているのかと唸らされることが多く楽しいです。今までに2個の課題と3回の試験がありました。残り2個の課題と最終試験が残っています。

#### ・ New Media, Culture & Society

このクラスは、レクチャーとディスカッションに別れて行われます。レクチャーでは、コンピュータとインターネットの歴史、仮想空間とコミュニケーションの関係性、デジタル視覚化の発達、ニューメディア産業の特徴などを、実例を踏まえて教わっています。ディスカッションのクラスでは、実習課題として、仮想3D空間(second life など)や、特定の目的をもったコミュニティーに参加して、それらが人々にどのような影響を及ぼしているのかレクチャーで学んだこれらのことに基づいて、自分自身の考察を毎週ブログで報告しています。最終的に、ファイナルペーパーとしてまとめることが最終課題となります。今までに3回クイズがあり、中間テストが一回ありました。中間テストは、完全に全問記述式だったので、非常に苦しかったです。

#### ・その他

帰国が迫っています。正直帰りたくありません。1年間という期間は、非常に短いです。初めの語学学校では人生で初めての体験を多くしました。友達もできました。しかし、英語の面では、今考えると全く通用しないレベルでした。それは UIUC での授業で痛感しました。まずネイティブの英語話者が何を言っているのか聞きとれないのに会話ができる筈がありません。そこで色々どうすればいいのか色々考えました。会話を成立させるためにはまず相手の言っていることを理解しなくては行けない。そのためにリスニングに焦点を当てました。アニメやテレビを見続け、日本語を勉強している学生を捕まえて日本語を教える代わりに英語を教えてくださいと頼み、英語に触れる機会を増やしました。といっても、これらのことは渡米前にすることであって、留学生活中にすべきことではなかったと反省しています。しかし、その甲斐もあり渡米してから半年後、英語を母国語としている人、母国語レベルで話すことができる仲の良い友達ことができました。何気ない会話の中で、笑いを取ることができたり、彼らから相談をされたり、日本の友達と話すような感覚で彼らと会話ができるようになって非常にそう感じます。このような経験を通して、本学での英語教育をもっとこうの方がいいので

はないかという考えも生まれました。また、この留学を通して、自分がどういう人間になりたいのか、  
どういう仕事をしたいのかということが明確になりました。